



八地申
第6号
10月6日
提出!

稲城長沼駅の出札窓口の閉鎖及び駅業務全般委託、 南多摩駅・矢野口駅の業務委託先変更に関する説明申し入れ

八王子支社より7月15日に「2020年度営業関係施策について」の提案を受けました。その中で稲城長沼駅の出札窓口を2021年2月28日に閉鎖すること及び2021年4月1日に駅業務全般委託することが示されましたが、2012年10月30日にJR東日本は5度目となる経営構想として「グループ経営ビジョンV～限りなき前進～」が発表され選ばれる沿線ブランドづくりとして「中央ラインモール」の開発を推進していくことが示されました。提案内容は、駅を中心とした魅力ある街づくりの実現のため、(株)JR中央ラインモール会社が駅において鉄道サービスと生活サービスを一体的に提供し、「地域の顔」としての駅の魅力向上を図るとともに、駅・SCが一体となって「お客さまサービス」「まちづくり」に取り組む体制を構築するとしています。

これまで委託された駅では、労働環境や要員・教育・訓練について多くの課題が職場の声として上がっています。安全第一の駅を目指すために、技術継承・技能伝承ができる駅業務を担う人材の確保を行ない、その駅のプロを育成していくことが快適な輸送サービスの提供につながります。

安全・健康・ゆとり・働きがいの持てる職場を構築していくために、下記の通り申し入れを行いました。

1. (稲城長沼駅)

1. 出札窓口を閉鎖する目的と根拠を明らかにすること。
2. 駅業務全般委託を行なう目的と根拠を明らかにすること。
3. 稲城長沼駅の販売実績及び払い戻し実績を明らかにすること。また、出札窓口閉鎖により払い戻しがどの程度府中本町駅や登戸駅に分散する見込みかを明らかにすること。
4. 現在の体制と駅業務全般委託後の体制を明らかにすること。
5. 稲城長沼駅構内の教育・訓練はどのように行うのかを明らかにすること。
6. 稲城長沼駅止まりで到着後、回送や入区となる列車の車内点検について考えを明らかにすること。また、留置車両の取り扱いはどのように行う考えなのかを明らかにすること。
7. 現在JR東日本ステーションサービスに委託されている駅の乗車券原紙を管理駅である稲城長沼駅が一括して要求しているが、JR中央ラインモールに委託後の3駅分の乗車券原紙の要求方法について考えを明らかにすること。
8. レイアウト変更や現金取り扱い機器、バックヤード整備をどのように行うのかを明らかにすること。
9. 施策実施に伴う出向や異動の考え方を明らかにすること。